

2019年度 環境経営レポート

(2019.4.1~2020.3.31)

システムニ科尔 (株)
<http://www.nicol.co.jp>

目次

- 会社概要
- 環境経営方針
- 環境経営推進体制
- 環境経営目標と実績
- 環境負荷の状況
- 環境負荷測定法
- 環境取組の評価
- 環境関連法規
- 代表者による評価と見直し

システムニ科尔株式会社

オフィス<人数>	所在地
本社<40名>	〒220-0023 神奈川県横浜市西区平沼1-39-3 三石ヨコハマビル3F 最寄り駅:横浜駅東口より徒歩8分
沼津支所<7名>	〒410-0396 静岡県沼津市宮本140 富士通沼津工場B棟5F
仙台支所<21名>	〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町3-3-5 仙台青葉通ビル3F

本社フロア床面積 : 184.80㎡

沼津支所フロア床面積 : 52.80㎡

仙台支所フロア床面積 : 128.83㎡

会社概要

会社概要

創立	1973年5月
代表取締役	浅見 秀一
資本金	8,000万円
売上高	513百万円
従業員総数	68名(2020年4月現在)
活動概要	以下のソフトウェア開発 ・通信系ソフト開発 ・組み込み系ソフト開発 ・Webアプリケーション開発 ・Windowsアプリケーション開発
設備概要	パソコン コピー機 Web会議システム ※社用車等の車両は保有しておりません

- ◇ 対象範囲 全社(本社, 仙台支所, 沼津支所)
全活動(ソフトウェア開発)

◆組織沿革

- 1973年 5月 川崎市に設立
- 1983年12月 沼津支所を開設
- 1987年 7月 資本金6,400万円に増資
- 1991年10月 仙台支所を開設
- 1996年 6月 本社を川崎市より横浜市へ移転
社名をシステム日本(株)よりシステムニコル(株)へ変更
- 2006年 6月 エコアクション21認証取得
- 2007年 1月 仙台支所を仙台青葉通ビルへ移転
- 2007年 3月 沼津支所を富士通沼津工場内へ移転
- 2007年 7月 資本金8,000万円に増資

→現在に至る

◆基本理念

当社は「社会貢献」を企業理念に持つ企業として、環境関連法規、条例、地域の指導・指針を率先して守り、環境に配慮した事業活動を推進します。

また、人の集団であるIT企業として、社員一人ひとりの環境に対する意識向上を図り、労働環境に配慮し、健康経営を推進します。

キーワード:SDGsとプラス志向

環境経営方針

◆基本方針

1. 3R:Reduce→Reuse→Recycleの順序で推進します。
2. SDGs:持続可能な環境活動を推進します。
3. 労働環境にも配慮し、健康経営を推進します。

上記の基本方針に基づき、以下の環境活動を推進します。

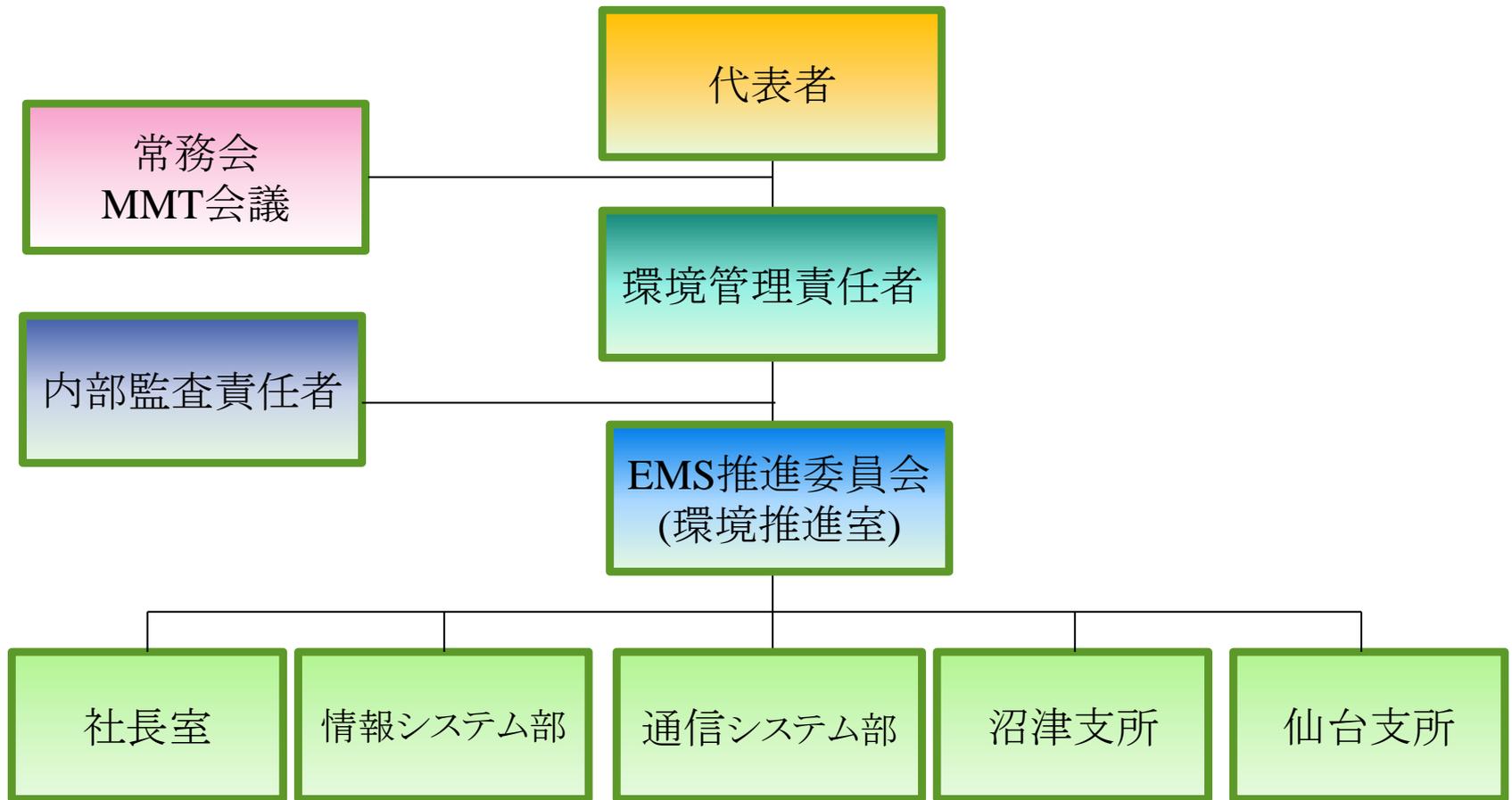
- (1) 事業活動によるCO2排出量、廃棄物排出量、OA用紙使用量の削減に努めます。
※当社事業活動において、化学物質の取り扱いはありません。
- (2) SDGsの考え方を意識した環境教育を推進することにより、社員一人ひとりが持続可能な社会の創り手となることを目指します。
- (3) 業務効率化により、労働環境の改善および顧客満足度向上を目指します。
- (4) 各拠点における環境活動を通して、社会貢献活動を推進します。

本方針は社内および社外へ公表します。

制定日:2008年9月12日

改定日:2019年2月1日

システムニacol株式会社
代表取締役 浅見 秀一



環境経営推進体制

環境経営推進体制

代表者	代表取締役	浅見 秀一
	常務取締役	臼井 立美
	常務取締役	花園 泰
環境管理責任者	環境推進室担当部長	遠藤 幸一



中期目標(2017年4月-2022年3月) ※1	環境施策
電力使用量削減 2013年度実績値の維持	クールビズ,ウォームビズによる空調温度の適正管理。昼休み消灯,未使用機器電源OFF →異常値がないことを継続監視 働き方会議による施策の実施 ※1
紙使用量削減 2013年度実績値の維持	電子媒体使用等によるペーパーレスの推進 →異常値がないことを継続監視
可燃ごみ排出量削減 2013年度実績値の維持	ゴミ分別化の徹底 →異常値がないことを継続監視
Decent work(働きがいのある人間らしい仕事)の推進 ※1	<ul style="list-style-type: none"> ・業務効率化提案件数の向上推進 →基準値(2013年度実績値)の維持向上を継続監視 ・労働環境改善活動

※1 エコアクション21ガイドライン2017年版に 対応するため、中期目標と施策を見直し、対象期間を変更した

環境経営目標と実績-中期目標と施策①

中期目標(2017年4月-2022年3月) ※1	環境施策
環境への取り組みの社外展開推進	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に関する外部セミナー参加 ・環境イベント参加
SDGsを踏まえた環境教育の推進 ※1	持続可能な教育方法の検討および運用

※1 エコアクション21ガイドライン2017年版に 対応するため、中期目標と施策を見直し、対象期間を変更した

環境経営目標と実績-中期目標と施策②

活動項目	年度目標	今期の状況	達成状況
電力使用量削減 [kWh]	2013年度実績値維持 26,405.74 ※1	21,556.68	○
CO2排出量 [kg-CO2]	2013年度実績値維持 13,333.30 ※2	10,964.65 ※2	○
紙使用量削減 [枚]	2013年度実績値維持 7,211 ※1	8,430	×
可燃ごみ排出量 削減 [kg]	2013年度実績値維持 69.1 ※1	118.5	×

※1 2013年度実績値

※2 購入電力の排出係数は2015年度実績調整後排出係数

東京電力 排出係数 0.491

東北電力排出係数 0.559

環境経営目標と実績-2019年度①

活動項目	年度目標	今期の状況	達成状況
Decent work (働きがいのある人間らしい仕事)の推進	業務効率化提案件数の向上推進 ⇒2013年度実績値(13件)の維持向上	8件 (開発サポートツール, 改善提案件数)	×
	有給取得率向上および労働環境改善の提案推進	働き方会議による労働時間の管理, 課題の抽出, 対策の検討を継続で実施中。	○

環境経営目標と実績-2019年度②

活動項目	年度目標	今期の状況	達成状況
環境への取り組みの社外展開推進	自治体, 他企業のセミナー, イベント等の社外環境活動の参加	各拠点にて環境活動(清掃活動, 募金活動)に参加した。本社地区はSDGs関連のセミナー参加を予定していたが, 中止により未実施。	○
SDGsを踏まえた環境教育の推進	持続可能な環境教育システムの構築および運用	環境教育システムの構築までは至ってないが, 社内にてSDGs関連の教育を開始した。	○

環境経営目標と実績-2019年度③

◆年度別目標

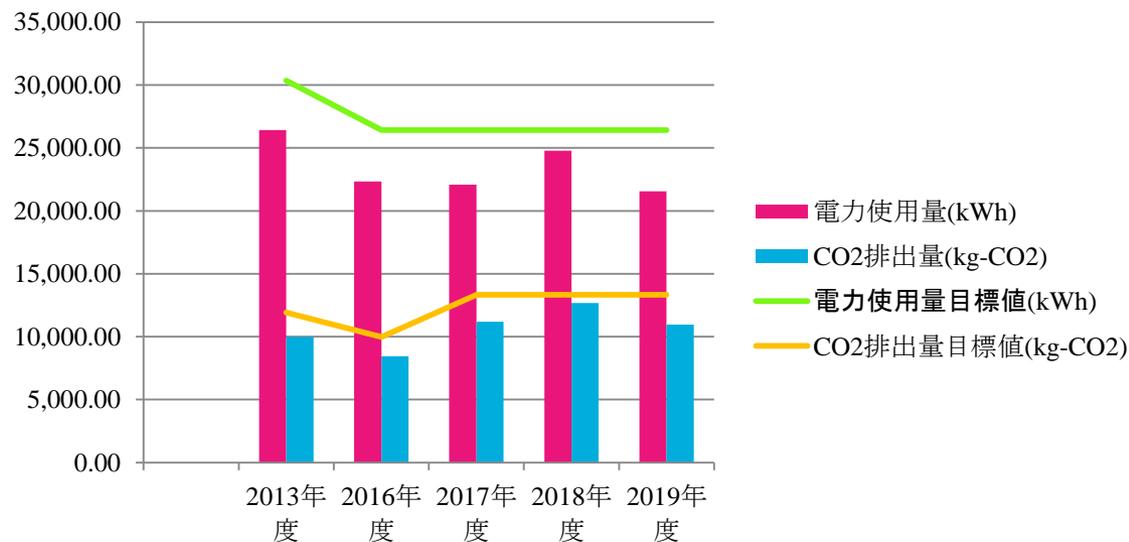
活動項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
電力使用量削減 [kWh]	2013年度実績値の維持(26,405.74)				
CO2排出量 [kg-CO2]	2013年度実績値の維持(13,333,30)				
紙使用量削減 [枚]	2013年度実績値の維持(7,211)				
可燃ごみ排出 量削減 [kg]	2013年度実績値の維持(69.1)				

※ 2017 – 2021年度まで2013年度実績値の維持を目標とし、異常値がないことを監視していく。

環境経営目標と実績-年度別

◆電力使用量の年度別目標と実績

活動項目	2013年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
電力使用量 (kWh)	26,405.74	22,326.72	22,077.48	24,774.61	21,556.68
CO2排出量 (kg-CO2)	9,981.36	8,439.5	11,194.05 ※1	12,676.44 ※1	10,964.65 ※1

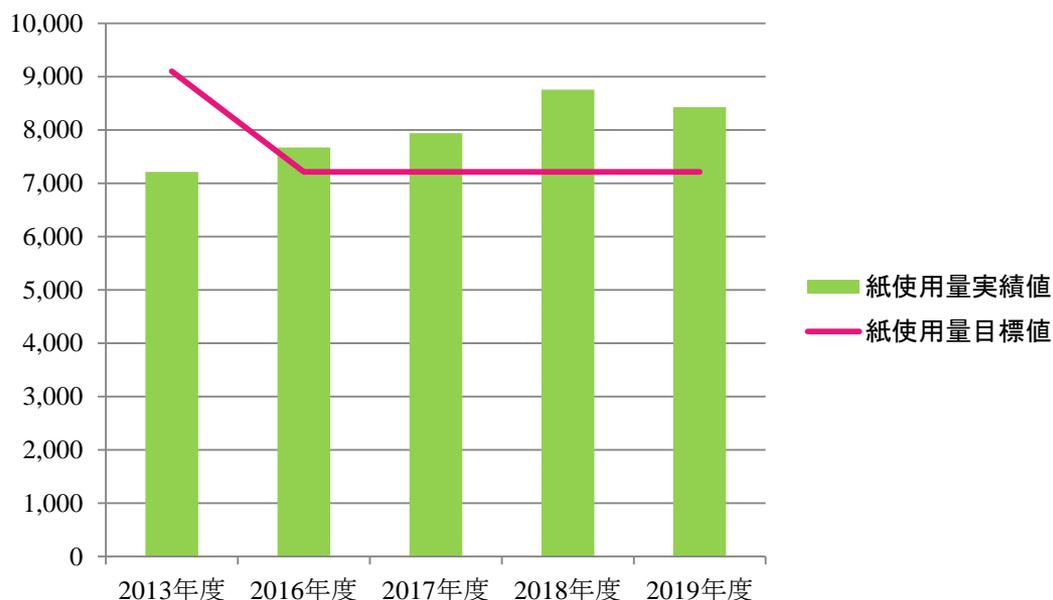


※1 2015年度実績調整後
排出係数に変更のため
東京電力:0.491
東北電力:0.559

環境負荷の状況①

◆紙使用量の年度別目標と実績

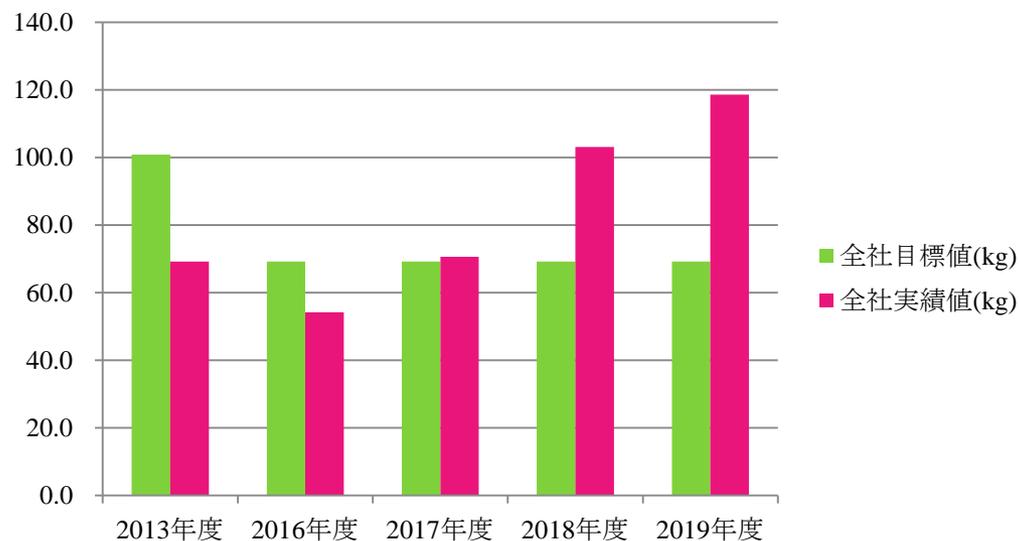
活動項目	2013年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
紙使用量(枚)	7,211	7,674	7,937	8,757	8,430



環境負荷の状況②

◆可燃ごみ排出量の年度別目標と実績

活動項目	2013年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
可燃ごみ排出量 (kg)	69.1	54.2	70.6	103.1	118.5



環境負荷の状況③

- 電力使用量，CO2排出量

目標を達成しており，問題はない。

- 可燃ごみ排出量

常駐者の増減やフロアのレイアウト変更による廃棄物処分等の要因により，目標未達成となった。

⇒次年度は，常駐者の増減を考慮した測定方法を検討していく。

環境負荷の状況 - 考察①

●紙使用量

社内セミナー，採用試験，社内作業等での印刷物が増加したため，目標未達成となった。

⇒次年度は，ペーパーレス化拡大のための啓発活動を推進していく。

●水道使用量

水道使用量については，入居ビル管理会社が全フロア一括で処理している為，フロア単位で数値を把握することはできない。したがって，水道使用量については節水への呼びかけを行っている。

環境負荷の状況 -考察②

ワットチェッカーによる
電力測定



はかりによるゴミ計量



環境負荷測定法

項目	評価	次年度の取組
電力使用量削減 CO2排出量削減	目標を上回る削減を達成した。※1	2013年度実績値を維持し、異常値がないことを継続監視していく。
紙使用量削減	2013年度実績値を下回り、目標達成できなかった。※1	2013年度実績値を維持し、異常値がないことを継続監視していくとともにペーパーレス化拡大に向けた啓発活動を推進する。
可燃ごみ排出量削減	2013年度実績値を下回り、目標達成できなかった。※1	2013年度実績値を維持し、異常値がないことを継続監視していくとともに測定方法の見直しを検討していく。

※1 要因については「環境負荷の状況 考察①②」参照

環境取組の評価①

項目	評価	次年度の取組
業務効率化提案件数の向上推進	2013年度実績値を下回り、目標達成できなかった。	CS推進担当と連携し、2013年度実績値の維持向上を目指す。
有給取得率向上および労働環境改善活動	働き方会議での課題の抽出、労働時間の管理、改善対策の検討を継続で実施中。	働き方会議による労働環境改善への取り組みを継続で実施していく。
持続可能な環境教育システムの構築および運用	環境システムの構築までは至っていないが、社内にてSDGs関連の教育を開始した。	SDGs関連の教育の継続実施および効率的な教育方法の検討

環境取組の評価②

項目	評価	次年度の取組
環境への取り組みの社外展開推進	外部セミナー参加は未実施であるが、各拠点での清掃活動、募金活動は継続で実施した。	各拠点での社外環境活動参加の定着化および範囲の拡大を目指していく。

当社では技術教育に加え、定期的に環境関連の情報を社員向けに発信したり、各部門それぞれで定期的に環境活動の周知、教育の場を設け、啓発活動を実施している。

環境取組の評価③

◆環境関連法規への違反，訴訟の有無

環境関連法規の違反・訴訟等は過去および現在において1件もない。また，当社に対する関係機関及び近隣からの指摘・苦情もない。

※環境上の緊急事態に対する対応については，自然災害，火災のみ想定している。

環境関連法規-違反・訴訟の有無

関連法令・条例・規則・顧客	適用対象
循環型社会形成推進基本法	全社
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	全社
資源の有効な利用の促進に関する法律 (PCリサイクル法)	全社
特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	全社
使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する 法律(小型家電リサイクル法)	全社
横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等 に関する条例	本社

環境関連法規一覽①

その他環境関連の要求事項	適用対象
入居ビル管理, 富士通沼津工場の要求事項(ゴミ分別, 避難訓練)	全社

環境関連法規一覧②

清掃活動に参加しました！



仙台「広瀬川流域一斉清掃」



沼津「まちピカ応援隊」

環境活動の紹介-イベント

ゴミの分別はきっちりと！募金活動も実施中！



環境活動の紹介-分別

従来からの環境問題への取組(自社業務及び提供するサービス等において発生する環境負荷の低減等を目指す)が継続して行なわれていることを確認した。

しかし、オフィスにおける常駐人数の増減, その他特殊要因があった場合の取組評価が適切になされない点も見受けられた。次年度は, 対応が求められる。

今後とも自社経営の「課題とチャンス」を活動に活かし, 企業価値を向上させて行くことが期待される。

代表者による評価と見直し

フェーズ
1

- ・ 2004年より弊社独自の環境活動（クールビズ等）を開始

フェーズ
2

- ・ 2005年よりお取引先から第2者認証を取得

フェーズ
3

- ・ 2006年6月，エコアクション21の認証を取得（第3認証）

フェーズ
4

- ・ 2015年4月～ フェーズ3までの削減効果の維持および社外の働きかけ等スコープ拡大

フェーズ
5

- ・ 2016年4月より「働き方改革」を含む労働環境改善へと取り組みを拡大

フェーズ
5+

- ・ 2019年1月よりSDGsを意識した取り組み等スコープ拡大

2019年度～2021年度の中期目標

Decent work (働きがいのある人間らしい仕事)の推進

SDGsを踏まえた環境教育の推進
環境への取り組みの社外展開推進

2013年度
実績値を
元に異常
値がない
か監視継
続

電力使用量・CO2
排出量削減
2013年度実績値
の維持

可燃ごみ
排出量削減
2013年度実績
値の維持

紙使用量削減
2013年度実績値
の維持

2020年度の年度目標

通番	中期目標	環境経営目標
1	電力使用量・CO2 排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・2013年度実績値の維持 ・一人当たりの値算出方法の検討
2	OA用紙使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・2013年度実績値の維持 ・一人当たりの値算出方法の検討 ・ペーパーレス化拡大に向けた啓発活動の実施
3	可燃ごみ排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・2013年度実績値の維持 ・一人当たりの値算出方法の検討
4	Decent work (働きがいのある人間らしい仕事)の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・業務効率化提案件数の向上推進 ・有給取得率向上および労働環境改善の提案推進
5	SDGsを踏まえた環境教育の推進	持続可能な環境教育システムの構築および運用
6	環境への取り組みの社外展開推進	自治体, 他企業のセミナー, イベント等の社外環境活動の参加

- システムニコル(株)
- <http://www.nicol.co.jp>

END